令和7年度　安全適正就業推進大会

開催日時　令和7年10月９日(木)14時

開催場所　さんさん館多目的ホール

公益社団法人　宇佐市シルバー人材センター

安全委員会

令和7年度　安全適正就業推進大会次第

第１部 安全健康祈願神事及び安全標語受賞者表彰式

1.　神事　14:00

2.　安全標語受賞者表彰式　14:30

第２部 安全大会

1.　開会　14:40

2.　安全委員長あいさつ　14:45

3.　理事長あいさつ　14:50

4.　報告　14:55

①　令和6年度シルバー保険適用・報告
②　傷害・損害事故の発生状況と防止策について
③　令和7年度シルバー保険適用・報告
④　高齢者の骨折の特徴
⑤　救急車利用マニュアル
⑥　事故を防ぐには

5.　安全についての自己啓発発表　15:10

①　会員番号　2207　山根　直人　会員
②　会員番号　1902　竹下　　敦　会員

6.　三角巾（止血）の方法　15:25

7.　講演「ゴミの現状と課題について」　15:30

講師　市民生活部　生活環境課　リサイクル推進係
主任　中野　秀俊　様

8.　安全宣言　16:00

9.　閉会　16:05

第1部

神事

櫻岡神社　宮司　宇留島　隆氏

玉串奉奠

理事長	安部　政博
安全副委員長	矢治　伸幸
植木剪定部会長	臼杵　良資
草刈部会長	辛島　二男
地域班長代表	後藤　啓一郎

令和7年度　安全標語優秀作品受賞者一覧

理事長賞	今一度　基本に返って　安全確認	末綱　陽子
安全委員長賞	ヒヤリ　ハット　皆んなで共有　安全作業	佐藤　俊文
最優秀賞	自分の体と対話して　無理はダメだよ　シルバー世代	岩田　泰代
優　秀　賞	安全は　基本動作と　手順の確認	後田あけみ
優　秀　賞	スピード控え　心にゆとり　安全運転	川谷　忠孝
佳　　作	客先も　見てます　あなたのその作業	安東　良治
佳　　作	急ぐ時　あわてる時こそ　ゆっくりと！	岩水　幸代

特別賞 （殿堂入り）	絶対なくそう思い込み「したはず」「見たはず」「言ったはず」	本田　洋子

経過報告

　宇佐市シルバー人材センターは「安全はすべてに優先する」をスローガンに掲げ、安全就業に取り組んでいます。しかし、安全第一の就業を心がけていても思わぬ事故が起きてしまいます。特に今年の7月、8月、9月は猛暑日（35℃以上・日田市は62日間）が全国的に増え、夜間の気温も高い（熱帯夜25℃以上）日が続きました。都市部を中心にヒートアイランド現象も深刻化しています。
ヒートアイランド現象：アスファルトやコンクリートの蓄熱、エアコン、車などの廃熱、緑地の減少、高層ビルによる風通しの悪化

センターの対策としましては、熱中症の主な予防法として

1.　こまめに水分補給
2.　暑さを避ける
3.　服装を工夫する
4.　暑さに慣れる（暑熱順化）

また、便利な情報として環境省の熱中症警戒アラートの活用があり、当センターでも剪定・草刈他屋外作業の班長に熱中症指数計を携帯してもらい熱中症防止に努めました。

「令和7年度安全活動」
安全衛生委員会、安全衛生管理者職場巡視、安全委員会、安全パトロール、運転従事者安全講習会、給食センター特別安全講習会、チェーンソー講習会

令和 6 年度事故件数15 件（傷害 8 件、損害 6 件（うち適用外5件）
派遣 1 件、）
入院 65 日・通院 78 日・賠償金額 220,605 円

今年度より事故時の免責金額が1万円（会員負担）になりました。保険会社の免責額は
3万円ですので、差額の2万円をセンターが支払っています。

1.傷害・損害事故の発生状況と防止対策（令和 6 年度）

事故事例1≪損害事故≫

伐採していた樹木の枝が落下し、敷地の周囲に設置していたフェンスに当たり、フェンスを破損させた。落下防止ロープを使用していたが、ロープの本数が少なくそのまま枝木がフェンスに落下してしまった。

原因：安全装備の確認不足
対策：就業場所の危険度を考える

事故事例2≪傷害事故・骨折≫

雨のため、外の仕事が早く終了したため、自転車で帰宅していた。坂道を下っている途中でカーブに差し掛かり、前方から人が歩いているのが確認できたためブレーキをかけたところ、自転車がスリップし、バランスを壊し転倒。救急車で搬送された。
右大腿骨骨折のため手術、入院。全治2か月の診断（入院50日・その後退会）

原因：雨の日の自転車走行は視界が悪くなる、道路が滑りやすくなる
対策：高齢者はカーブなど見通しの悪い道、濡れた路面等は、無理せず自転車を押して降りることを心がける

事故事例 3≪傷害事故・骨折≫

受付業務従事中、利用申込者が来館し、受付にて申込書の記入をしてもらった。記入した旨、声をかけられたため、急いで受付に向かったところ、滑って転倒し左肩を強打した。その後病院へ行き左上腕骨頭骨折と診断され、全治3ヶ月予定（通院51日）

原因：通常の注意を怠った
対策：床フロアーの滑りやすい場所（水滴）の確認、あわてた動作をしない

事故事例4≪損害≫

仕事の休憩中、スーパーの駐車場から、バックで発進する際に後ろを歩いていた歩行者に気づかず車と歩行者が接触。相手が転倒しケガを負った。センター所有のダンプのため、センターの自動車保険にて対応。ケガの治りが悪く人身事故へ変更となる。また、回復が悪く 7 月までリハビリ通院（5 ヶ月間）、9月示談完了
保険金支払い：病院宛（治療費、松葉杖　474,234 円）
被害者宛（休業損害、交通費、慰謝料　431,078 円）
合計　908,512 円

原因：前方、後方不注意
対策：就業時の昼食は自車にて購入すること（私用は不可）

高齢者の骨折の特徴

起こりやすい理由
〇骨粗しょう症（骨密度の低下）
〇筋力・バランス力の低下
〇転倒しやすくなる（視力、ふらつき、薬の副作用）

よくある高齢者の骨折部位

骨折部位	特徴・影響
大腿骨近位部（股関節付近）	最も重症化しやすい。 寝たきりの原因になりやすい。 手術が必要な場合が多い。
手首（橈骨遠位端・とうこつえんいたん） 橈骨（とうこつ）：前腕（ひじから手首まで）の骨の1つ。親指側にある骨です。 遠位端（えんいたん）：「遠位」とは、体の中心から遠い側のこと。「端」は”はし”（先端）を意味します。	転倒時に手をついて折れる。 比較的回復しやすいが、再発のリスクあり。
背骨（脊椎圧迫骨折）	自覚症状が乏しいことも。 背中が曲がる。身長が縮む。
上腕骨近位部（肩付近）	肩を強打した際など。 リハビリに時間がかかる。

骨折後のリスク

〇寝たきりになるリスクが大幅に上がる（特に股関節）
〇認知症の進行
〇肺炎、褥瘡（床ずれ）などの合併症
〇社会的孤立（外出困難）

予防のポイント

転倒予防
〇家の段差、滑りやすい床、コード類を整理
〇手すりの設置、滑り止めマットの活用
栄養管理
〇カルシウム（牛乳、小魚など
〇ビタミンD（魚・日光浴）
〇タンパク質（筋肉の維持にも）

運動

〇バランス運動（太極拳、スクワット、かかと上げ）
〇ウォーキング、ストレッチなどで筋力維持

医療的ケア

〇骨粗しょう症の検査・治療
〇ビタミンDや骨を地良くする薬の使用

骨折後の回復サポート

〇リハビリは早期開始が重要（寝たきり防止）
〇介護保険制度でのリハビリ利用（通所リハ、訪問リハなど）
〇家族や地域の支援体制も大切

もしご家族の方やご自身に不安がある場合は、以下のようなアクションが役立ちます。
市の介護保険課にご相談ください。
〇自宅でできる「高齢者向け転倒予防運動」動画や資料
〇骨折後の介護保険サービスの使い方
〇骨粗しょう症の薬の種類と副作用

救急車利用マニュアル

ためらわず救急車を呼んでほしい：大人編

頭

〇突然の激しい頭痛
〇突然の高熱
〇支えなしで立てないくらい急にふらつく

顔

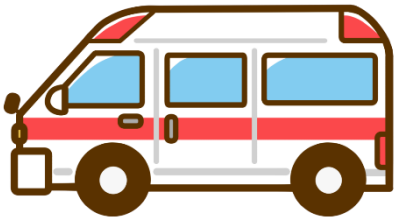
〇顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
〇ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
〇ろれつがまわりにくい、うまく話せない
〇ものが突然二重に見える
〇顔色が明らかに悪い

胸や背中

〇突然の激痛
〇急な息切れ、呼吸困難
〇胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
〇痛む場所が移動する

腹

〇突然の激しい腹痛
〇持続する激しい腹痛
〇吐血や下血がある



手足

〇突然のしびれ
〇突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の傷害

〇意識がない（返事がない）又はおかしい（もうろうとしている）
〇ぐったりしている。けいれん
〇けいれんがとまらない
〇けいれんが止まっても、意識がもどらない
けが・やけど
〇大量の出血を伴う外傷
〇広範囲のやけど

吐き気

〇冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

〇食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
〇変なものを飲み込んで、意識がない

事故

〇交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
〇水におぼれる
〇高所から連絡

その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

事故を防ぐには

重篤事故につながる就業の見直し

危険、有害な作業は受託しない。

伐木作業でのチェンソーの使用、草刈作業における斜面や清掃作業における階段での作業について徹底した対策を行う。

作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の完全着用の徹底を図る。

また、保護帽（ヘルメット）・墜落防止用器具（安全帯）等の安全保護具を未装着のままで就業した場合、申し合わせによって事故の有無に拘わらず就業者には就業停止等の措置を講じるなど安全就業の徹底を図る。

損害賠償責任保険事故が多く発生し、保険財政が破綻寸前となっていることから、特に草刈作業における飛散防止対策の徹底を図る。

1）安全就業対策の総点検の実施

2）就業前、就業後の安全意識等の徹底

3）機械器具の点検と整備の徹底

4）安全保護具の点検と整備の徹底

5）安全パトロール（特に抜き打ち）の重点実施

6）就業現場の総点検

安 全 就 業 宣 言

宇佐市シルバー人材センターは「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指します。

1つ
危険又は有害な作業を内容とする業務は受注しない

1つ
事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する

1つ
事故の情報を分析し再発防止を徹底する

安全就業は、シルバー人材センターにとっても最も重要な課題のひとつです。傷害事故や健康傷害が起らぬよう、役職員はもちろん全会員が一致して安全就業・健康管理及び交通安全の確保に努め、安全就業に取り組むことが大切です。

宇佐市シルバー人材センターでは、会員の安全就業に対する意識の向上に取り組んでまいります。

令和7年10月9日

公益社団法人
宇佐市シルバー人材センター
会員代表　小南　健治

シルバー川柳

腕立て伏せ　伏せたらずっと　伏せたまま

よく喋る　家電と妻に　囲まれる

振り込める　金があるなら　苦労せん

どこ行った　暗証番号　書いた紙

自叙伝を　書いて配って　捨てられる

寒くない　やさしい妻が　猫に聞く

手相では　晩年安泰　それはいつ

高齢者　前期後期の　次末期？

タブレット　使えず回る　寿司見つめ

「もうダメだ」 言って10年　元気です

備蓄米　孫がたいらげ　帰ってく

貸金庫　思い出せない　入れた物

ハロウィン(Halloween)は毎年 10 月 31 日に行われる祭りで、もともとはケルト人の古代の祭り「サウィン(Samhain)」に由来しています。
この祭りは、秋の終わりと冬の始まりを祝うもので、死者の魂がこの世に戻ってくると信じていたことから、霊を迎えるための儀式が行われていました。